

令和4年度第3回協和地域協議会会議録

令和4年12月16日

協和地域協議会

令和4年度第3回協和地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■報告	
(1) 彩色千輪プロジェクト市長プレゼンについて	3
(2) 第6期地域協議会委員(令和5～7年度)選任に関する方針について	5
(3) 地域枠予算申請状況について	5
(4) 協和地域の行事等について	5
■その他	6
■閉会	12

令和4年度 第3回協和地域協議会 会議録

■日 時：令和4年12月16日（金） 午後3時27分

■会 場：協和庁舎4階大会議室

■出席委員：9名

武藤 秀一、武田 春樹、武藤 利雄、奥田 聖名子、
伊藤 泰子、茂木 靖雄、加藤 弘栄、今野 珠希、
佐藤 幸雄

■欠席委員：5名

伊藤 慎一、千葉 勝俊、斉藤 陽子、加藤 久則、
茂木 美竹

■出席職員：10名

俵谷 憲朗（協和支所長）、加藤 登紀子（市民サービス課長）、
佐川 悦章（農林建設課長）、阿部 成吾（協和公民館長）、
加藤 薫（西仙北・協和建設水道事務所長）、佐藤 恵（市民サービス課参事）、
遠藤 隆伸（農林建設課参事）、小林 正（協和公民館副主幹）
加藤 登志美（地域活性化推進室主幹）、千葉 桜子（地域活性化推進室主事）

■次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 報 告
 - (1) 彩色千輪プロジェクト市長プレゼンについて
 - (2) 第6期地域協議会委員(令和5～7年度)選任に関する方針について
 - (3) 地域枠予算申請状況について
 - (4) 協和地域の行事等について
- 5 その他
- 6 閉 会

○事務局（地域活性化推進室） 加藤主幹

本日出席予定の奥田委員ですが、少し遅れるというご連絡をいただいております。それ以外の出席予定の委員の皆様揃っておりますので、少し早いですが協議会の方、始めさせていただきます。

（午後 3 時 27 分 開会）

○事務局（地域活性化推進室） 加藤主幹

本日は、年末も間近の大変お忙しいところご出席くださいますと誠にありがとうございます。

ただいまから第 3 回協和地域協議会を開会いたします。

主催者を代表しまして武藤会長が皆様にご挨拶を申し上げます。

○武 藤 利 雄 会長（以下「会長」と表記）

皆様、今年も残り 2 週間余りということで、本当に時が経つのは早いものであります。この強風の中、しかも悪天候の中、委員の皆様にはこの第 3 回地域協議会にご出席いただきましてありがとうございます。12 月に入りまして、特にコロナの感染者が増えています。皆様も予防対策で余念が無いかと思いますが、早く収束してくれればと願うものであります。そういう関係で、今年の予定されました地域予算の現在の進捗ですが、53 パーセントということで報告を受けております。その中でも特に市民主導型が、去年もそうでしたが、中止に追い込まれて活動が出来ないということが増えております。これもコロナの予防対策で、皆様が安全を重視してやっていることで、なかなか事業が出来なかったということでもあると思います。しかしながら、3 年も中止する事業が増えますと、事業を推進するということから、活力が失われてしまったとか、そういう懸念も無きにしても非ずですので、何よりもまず、コロナが早く収束してくれば様々な活動も出来るのかなと思っております。

そういうことで、今日は地域協議会ですが、協和地域の彩色千輪プロジェクト事業ということがありまして、和ピアを拠点とした対策ということで、今日も話題になるかと思いますが、前回から数回、協和中学校の生徒を交えて交流しながら議論したことを踏まえて、すぐ結論は出ないと思いますが、皆様で様々な観点から話し合っただけならばということでございます。

この冬もあまり大雪にならないように、交通災害等がなるべく起きないようにお願いするとともに、皆さんの今日のこの会議を有意義に終われることをお願いしまして挨拶といたします。

○事務局（地域活性化推進室） 加藤主幹

本日は委員定数14人中9人と2分の1以上の方が出席されておりますので、大仙市地域自治区設置等に関する条例第8条第3項の規定により会議は成立していることをご報告いたします。

この後は、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、武藤会長が議事進行を務めます。

○会 長

次第に入る前に「会議録署名委員の指名」をさせていただきます。

会議録署名委員には、茂木靖雄委員、加藤弘栄委員にお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。

それでは、次第に従いまして進めて参りたいと思っております。

報告(1)彩色千輪プロジェクト市長プレゼンについて、説明を願います。

○俵谷支所長

【(1)彩色千輪プロジェクト市長プレゼンについて】説明 報告資料1～3

○会 長

はい、ありがとうございました。

ただ今の件について、俵谷支所長より説明がありましたが、何かご質問・ご意見等ありましたら委員の皆様からお願いいたします。

○武田春樹委員

和ピアの改築、ソフト事業は多彩にやるということですが、市長の方から事業費を圧縮しなさいということと、既存の施設を使うということ、和ピアの中を改修しなさいということだったのか。

○俵谷支所長

そういうことです。指示を聞きまして、こちらの方でどういう方向で進めるかということを検討したのですが、調理実習室については、和ピアの中にある部屋、例えばシルバーホール等の既存の部屋を活用する方向で、今のところ考えております。キッズスペースについては、部屋を使うのか、それとも別の方法で作るのかという、その辺りは、これから和ピアの方とも検討して方向性をまとめたいと思っております。

スケジュールとしては、令和5年度中に方針を決めまして、令和6年度を目途に実施したいという風に考えております。

○武田春樹委員

調理実習室についてですが、当然、調理の実習もやるでしょうけども、各種会合や祝賀会等で和ピアを私も何回か利用しておりますが、調理室というか調理場が無いのが非常に困っておりました。この提案書では、裏口の方に計画しているようでしたけども、既存の部屋を改修としてやるのであれば、今、支所長が説明して下さったシルバーホールというか、研修室の向かい側の部屋を上手く改修してやった方が、第1研修室や第2研修室への調理した物の運搬等も容易ですし、業者からの資材の搬入も楽だと思います。

まだ決まってはいないのでしょうか、再度色々協議検討するのでしょうか、その方がいいなど、私も思って話をしようかなと思ったら支所長から説明があったので大変良かったなど、前向きに検討してもらいたいと思います。以上です。

○会長

はい、ありがとうございました。他にありませんか。

○加藤弘栄委員

改修に関してですが、最近言われているのが、中学校等の部活動がだんだん外部講師委託という形をとるようにしなさいという文科省からの通達が来ていて、今日来るときに少しニュースを見た時は、見直しはもう少し後でもいいということでしたが、今、小学校はどんだんスポーツ少年団になっていますし、後々、中学校の方も全て土日の活動に関しては外部講師を委託してとか、地域の人達に指導してもらうような形をとりなさいという、先生たちを極力、土日は休ませたいという動きがあるようです。

そうなってくると、学校に入れないう週末に活動するには、どうしても既存の施設を使わないといけなくなってくると思いますが、そういう時に和ピアを上手に使えば、子ども達の活動の場として良いのではないかなと思ひまして、改築・改修する時にそういうことも少し視野に入れて、ちょうどグラウンドもありますし、体育館もありますし、ホールもありますし、既存施設を上手く使えるような、ソフト事業でもいいですが、上手く使えるように改修できないのかな、というのを織り込んでいただければなと思います。

○俵谷支所長

ありがとうございます。参考にさせていただきます。

○会長

はい、ありがとうございました。他にありませんか。

武田委員、加藤委員からの提案をある程度考えながら進めてもらえればなと思っております。

それでは、無いようでありますので、次の件に移りたいと思います。

(2) 第6期地域協議会委員(令和5～7年度)選任に関する方針について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室） 加藤主幹

【(2) 第6期地域協議会委員(令和5～7年度)選任に関する方針について】
説明 報告資料4

○会 長

ありがとうございました。

ただ今の件について、何か質問・意見等ありましたらお願いいたします。

無いようでありますので、(2)の件については報告を終わらせていただきます。

次に、(3)地域枠予算申請状況について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室） 加藤主幹

【(3)地域枠予算申請状況について】説明 報告資料5

○会 長

ありがとうございました。

(3)地域枠予算申請状況ということで、まだ終わっていませんが令和4年度の進捗状況、令和5年度の予算について、事務局より説明がありました。これについて何か質問等ありましたら、承りたいと思います。よろしくをお願いします。

ありませんか。令和5年度の予算も今年度と大して変わらないというか、いくらか金額減っていますけども、大して変わっていないようでございます。なんとかしてこの活動を皆さんで達成出来ればなと思っているところでございます。

それでは、無いようでございますので、(3)については報告を終わらせていただきます。

次に、(4)協和地域の行事等について、俵谷支所長よりお願いします。

○俵谷支所長

【(4)協和地域の行事等について】説明 報告資料6

○会 長

ありがとうございました。

(4)協和地域の行事等について、俵谷支所長より説明がありました。この件について、何か質問等ありましたら伺いたいと思います。ありませんか。

それでは、無いようでございますので、次に(5)その他の件に移りたいと思います。皆様から市当局に対して聞きたいことがありましたら、伺いたいと思います。自由になんでもいただければと思っております。

なお、回答については市当局の各課長から答えられる範囲内でお話しいただければと思っております。すぐに回答出来ない場合もあると思っておりますので、次回の協議会の時に回答するという段取りでございます。普段思っていることよろしいので、質問・意見等お願いいたします。

○佐藤幸雄 委員

佐藤です。よろしく申し上げます。何でもいいということなので、勝手にお話しさせていただきましても、今回、彩色千輪プロジェクトの中でワークショップ4回に渡って行われました。大変良い企画というか、大変勉強させていただいたわけですが、その中で子ども達から『家のお父さんとお母さんもこういう会議に出ればいいのに』という言葉がありました。大変、カルチャーショックのようなものを覚えたわけです。私ももうすぐ70になりますけれども、これからはやはり若い人達の時代になってくるのではないかなと思います。

先程、加藤(加藤弘栄)委員の方からもお話しがありましたが、中学校の部活動なんかも、どんどん流れ、やり方が変わっていくという、そういう大きい時代の流れの中にあるのかなと思っております。そういうのも理解している親、先頭に立ちながら協和の地域協議会も、盛り立てていくような会であればいいのではないかなと。私は、極端ですが、地域協議会の中に中学生とか高校生を入れても面白いのかなと。やはり協和のスタイルがあっただけいいのではないかなと思ったりしております。

この彩色千輪プロジェクトの前に、中学生による地域活性化コーペティションが行われて大変盛り上がりましても、良いアイデアは出て、良い意見は出るのだけでも、それが形になっていかないというのが、ちょっと生意気ですけども、今そういうところじゃないかなと思います。ぜひ今、この前ワークショップに参加した子ども達に、自分達の意見を何か形にできる機会を与えてあげたらもうちょっと面白くなるし、我々もそういうものを応援していけるのかなと、私は応援団でいいのかなと思いますので、やはり若い人にどんどん頑張ってもらって、先程出ていました地域協議会委員のメンバーですとか、その辺の選考もよろしく願いしたいなと思います。

子ども方結構やる気なんですね、ですから、大変失礼ですけども、行政絡みでずっといくと、やはりあれはダメ、コロナがあっただめとなってくところがありますので、ちょっとざっくばらんに、どこかの地域と協働するとか、何か1つ形をやってみれば、また次の流れが出てくるのかなと感じたりしているところです。以上です。

○会 長

ありがとうございました。佐藤委員から色んな、地域協議会の在り方とか運営の仕方ということで、若い力を入れて、若い人も含めた中で、委員の選考もありますし、今後の行政の進め方、地域協議会の在り方というような要望、考え方を説明してくれました。ありがとうございます。

他にありませんか。

○俵谷支所長

今の佐藤副会長のご意見についてですが、今回、地元中学生に参加していただいて、本当に活発な意見を出していただきました。親の世代、子育て世代の意見も、佐藤副会長も言う通り反映させていければ大変良いなと思っております。ただ、そうなった場合、現役世代の方になると思うので、会議の開催時間とか、そういうのは配慮しないといけないと思いますけども、参考になるご意見ありがとうございました。

今回、中学生 8 名に参加していただいて、4 回目ワークショップ終わってから、そのお礼ということで校長先生の方にご挨拶に伺ったところ、校長先生も、今回参加させていただいた子ども達はその内容について、協和地域の活性化について、非常に興味を持っているようだ、色々意見を出させてもらったけども、それが今後どのように実現されていくのかということも、出来れば見てみたい、これからも関わっていききたいという子どもが結構いたということでお話ししていただき、大変嬉しく思っているところです。参加していただいた子ども達は、2 年生・3 年生になりますので、来年度は卒業していってしまうわけですが、佐藤副会長も言うように、1 回関わってそれきりではなくて、これからも継続して関わっていけるような方法を考えていきたいなと思っております。ありがとうございました。

○会 長

ありがとうございました。他にありませんか。

○伊 藤 泰 子 委員

プロジェクト企画書、それからプレゼンされて、内容的に再検討しなさいというような、まずまとめるとそういうようなことだったと思うのですが、これで特に何か少しでも市長の方から、ここは良いとか、ここはちょっとまずいなとか、そういう点がありましたら、お願いしたいのですが。

○俵谷支所長

お配りした資料の 2 番目に、ワークショップで出された提案や事業案等を掲載させていただいておりますが、様々な方向からソフト事業を考えていただいて非

常に良いと思うということで、中学生に参加していただいて、ソフト事業を出来るだけまとめさせていただいた点については、先程も言いましたけども、評価をいただきました。

ただ、ハード事業の和ピアに必要な施設として、調理実習室とキッズルームですが、出来ればということで、正面から入ったホールの裏側の方に新たに調理実習室とキッズルームを建て増しすると、増築という形で提案させていただきましたが、金額が2億円弱ということで、予算をつける方としても非常に難しいと、現実的に厳しいということで、設備を作るのは良いが、その手法について経費の部分も考慮して、既存の施設を使って整備する方向で再検討するようにとの指示でありました。

○会 長

ありがとうございました。

○佐藤幸雄 委員

今のことですけども、今回のワークショップは協和を良くするにはどうしたらいいかというような題だったと思うんですね。和ピアを改修してというか、しながら、これでワークショップをやるとまた全然違ったものが出てくると思います。ぜひその時もですね、当然これモノづくりですから、ワークショップをやって様々な意見を聞いてやっていくことが必要だと思うんですね。

今回のワークショップで出たこの資料は、これからこの協和で何をやるにしても、どこでやるにしても、色々な場面で使える資料だなと私は捉えました。ですから、ぜひ和ピアをそういうふうにして使えるようにしていくためには、もう一度ですね、子ども達も入れて、和ピアに皆が集まるようにしたいというワークショップを開いていただければ、そこに集中した様々な意見が出て大変まとまるのではないかなと思いますけども。

○俵谷支所長

ありがとうございます。

○会 長

はい、ありがとうございました。

彩色千輪プロジェクトということで、市長の方へ企画書を持ってプレゼンしたわけですが、その報告も受けまして、建物の改修等、ハード面で予算もあることだと思いますので、それについては今後検討しなければならないということでありました。何せ、協和を良くするためのものですので、和ピアを拠点とした中でどのようにするかということ、委員の皆さん含め市当局からも色々考えてもらいたいと思います。

他にありませんか。

無いようでございますので、(5)その他についてはここで締めたいと思います。それでは、市の各課長からのお知らせがあればお願いします。

○市民サービス課 加藤課長

市民サービス課の加藤と申します。よろしく申し上げます。私の方から座ってご説明させていただきます。皆様のお手元に本日、チラシを1枚配布させていただきました。こちらは、マイナンバーの促進事業に係るチラシとなっております。配布が本日になりましたのは、昨日議会が終了いたしまして、新たな予算が可決されたということで、すいませんが本日になってしまいました。こちら12月19日・20日頃、大仙市内の小中学校へお配りする啓発チラシとなっております。

マイナンバーカード申請についてですが、政府情報では自治体のデジタル化への交付金が、カードの申請率が53.9パーセント以上で交付されるという報道がありました。正式にまだ市の方に来てはいないのですが、大仙市はそのハードルをクリアしたと伺っております。まだまだ、今後さらなる取組が必要とのことで12月・1月・2月と、日曜日の申請受付を設けることとしております。協和地域では、12月25日・1月15日・2月12日を予定しております。そして、12月中に申請すると、報道でもありますが、最高20,000円分のポイントがもらえるということですが、それに申請出来なかった小・中学生の方々には1月・2月に18歳以下の申請した方が、受け取りの際に3,000円のクオカードを進呈するというので、昨日議決を経ております。

委員の方々、そしてご家族の方々に、まだ申請されていない方がいらっしゃれば、ぜひこの機会にお願いしたいと思います。また、1月10日からは全国のコンビニエンスストアで住民票などの諸証明が取れるようになります。こちらを併せてご紹介させていただきます。私の方からは以上です。

○武田春樹 委員

協和地区は何パーセントくらいのものでしょうか。

○市民サービス課 加藤課長

それが、ちょっと下の方でして、50パーセントくらい。

○武田春樹 委員

もっと頑張って、上げるように。頑張った方がいい。

○佐藤幸雄 委員

コンビニってというのは、どこのコンビニでもいいのか。

○市民サービス課 加藤課長
全国のコンビニエンスストアで。

○佐藤幸雄 委員
どこでも？

○市民サービス課 加藤課長
マルチコピー機に行政のマークがありまして、そこで住民票ですとか、印鑑証明ですとか、そちらの方、改ざん防止用の複製防止用の印刷紙が入っておりますので、そこでマイナンバーカードがあれば、交付出来るということで。

○佐藤幸雄 委員
どこのコンビニでも？

○市民サービス課 加藤課長
どこでも大丈夫です。

○佐藤幸雄 委員
そうなんですか。峰吉川でもいいということで。分かりました。

○俵谷支所長
料金は同じだそうです。窓口で取っても、コンビニで取っても。

○西仙北・協和建設水道事務所 加藤所長
建設水道事務所の加藤です。建設水道事務所内の道路工事・水道工事につきましては、一部入札不調で取りかかれぬ工事もありますが、今のところそれ以外は順調に進んでおります。これもひとえに皆様方のご協力ということで、改めてお礼申し上げます。今後とも、皆様方のご指導いただきながら取り組んで参りますので、どうかよろしく願いいたします。

○農林建設課 佐川課長
農林建設課の佐川です。よろしく申し上げます。先程、主な行事の中で支所長の方より説明ありましたが、その中の種苗交換会について若干補足させていただきます。

今回は145回ということで、大仙市で初めて開催されました。農業機械ショーや農商工フェア、秋田米の新品種であります「サキホコレ」のデビュー等が行われまして、目標の80万人を大きく上回り、91万人の方々がお来場いただいて盛会に終えることが出来ました。最終日の閉会式では、公益団地化による作業・

経営の効率化・加工事業による周年農業への取り組み等、生産振興に尽くした功績が評価されまして、農事組合法人「たねっこ」さんが、本交換会で唯一の農業功労者として表彰されました。また、出店されました農産物ですけれども、1,350点ありまして、その内、野菜加工品部門で農事組合法人「大地」さんが、農林水産大臣賞を受賞されております。また、切り花部門・漬物部門で有限会社「弥栄」さんが、3位に入賞される等、協和地域の農業者の活躍が際立った大会となりましたので、ここでお知らせさせていただきます。

○協和公民館 阿部館長

続きまして、協和公民館からお話しさせていただきます。協和公民館「和ピア」では、ワクチン接種5回目が実施されております。実施期間は12月末までということになっておりますが、現在、感染者が増加しているということで、予約の方もかなり増えております。そちらの方は接種枠を増やして12月末まで、そちらで和ピアの会場は終了する予定となっております。実際、和ピアの会場が使えるようになるには1月中旬以降、2月・3月は通常通りの利用が可能となると聞いております。しかし、4月以降はまた流動的で、皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

非常に残念なことでしたが、11月19日、和ピアの階段のところで高齢者が救急搬送されたという事例もありますので、今後も大事に至らないような策をとらなければと考えております。

公民館の活動としましては、仙人大学や各種講座は通常通り実施されておりますが、自主公演の「定期能公演」と「きょうわ祭」は残念ながら中止となってしまいました。しかしながら、12月11日に実施された「自衛隊コンサート」はチケット配布から2日で完売し、地域の方々が非常に待ち望んでいることが伺えました。公演自体も無事に終えることが出来ましたし、ご協力いただいた方々には大変感謝しているところでございます。

次は、地域学校協働活動についてですが、昨年からは実施しております地域学校協働活動と、先程、加藤(加藤弘栄)委員からお話しがありました部活に関しましては、ここ2・3年で移行を考えているということでした。また、令和5年度からは、協和地域と西仙北地域でコミュニティスクールということを開催することになっておりますので、そちらも色々と連携できる事業等、考えておりますので、今度参考にしていただければと考えております。地域の皆様にもぜひご協力をいただいて、その際はまたお願いすることも多いかと思いますが、よろしくお願いたします。公民館からは以上です。

○会 長

はい、ありがとうございました。市当局の各課長方から、支所長を始め、色々と話を伺いました。

最後にですが、事務局の方から何かありましたら、ご説明を願います。

○事務局（地域活性化推進室） 加藤主幹

予定していた時刻より大分早く終わりそうですが、私の方からこの後のお知らせやお願いということで、お話しさせていただきます。

1つ目は彩色千輪プロジェクトに関することであります。先程も、会議の中で貴重なご意見等々いただきまして、ありがとうございます。令和5年度につきましては、この後、事業実施に向けた運営委員会を設立するというで計画しております。今年度、地域協議会委員の皆様にもご参加いただき、中学生とのワークショップを開催いたしまして、その際、色々貴重なアイデア・ご意見等が出されております。この後は、そのアイデアを実行に移すための作業が必要となります。地域協議会委員の皆様におかれましては、実施に向けた作業にも参加したいという、ありがたいご意見も出ているようですので、事務局から運営委員会のメンバー等々のご相談をさせていただいた際には、快くお引き受けくだされば非常に助かりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。また、運営委員会のメンバーにつきましても、自薦・推薦でも構いませんので、この人が適任だというような、まちづくりに関心のある方が身近におりましたら、お知らせいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

最後に、次回、第4回地域協議会ですが、3月の開催を予定しております。令和4年度最後の協議会でもありますし、現在の委員の皆様で開催する協議会も最後となります。開催日が決まり次第、皆様にはご連絡いたしますので、ぜひ参加の方よろしく願いしたいと思います。それ以前に開催等が必要な案件等が発生した場合には、会長の方と相談させていただいて、そちらにつきましても日程が決まり次第お知らせいたしますので、よろしく願いしたいと思います。事務局からは以上です。

○会 長

はい、ありがとうございます。

それでは、まだ時間早いようですが、これにて第3回協和地域協議会を締めたいと思います。皆様、本当にご苦労様でした。ありがとうございます。

（午後4時37分閉会）

協和地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

茂木 靖雄

加藤 弘栄